

## 第1回 町田市成瀬センター建替検討委員会

### 会議録要旨

開催日時：2011年10月18日(火) 18:00～20:00

開催場所：町田市成瀬センター会議室(2)

出席委員：前島正光、中里孝夫、稲木健志、鈴木生一、田中米司、井上祐次  
萩原勝生、赤澤純、伊藤倭子(敬称略)

欠席委員：市川豊

市側出席者：平野市民部長、落合市民協働推進担当部長、河野市民部次長、三好市民総務課担当課長、大谷市民協働推進課長、渋谷営繕課営繕第一係長、藤原市民総務課担当係長、服部市民協働推進課担当係長

コンサルタント：湯田、塚田、五十嵐

傍聴者：無

#### 《次第》

1. 開会
2. 委嘱書の交付
3. 挨拶(市民部長・市民協働推進部長)
4. 委員紹介
5. 委員長及び副委員長の選出(互選)
6. 成瀬センター建替検討の背景と目的
7. 成瀬センター建替検討の体制とスケジュール
8. 成瀬センター建替について
9. その他
10. 閉会

#### 《配布資料》

- 【資料1】 町田市成瀬センター建替検討委員会委員名簿
- 【資料2】 町田市成瀬センター建替検討委員会設置要綱
- 【資料3】 成瀬センターの建替検討の背景と目的
- 【資料4】 成瀬センター建替検討体制とスケジュールについて
- 【資料5】 現在の成瀬センターについて
- 【参考資料】 第1回成瀬センターづくり会議で出た主な意見

## 1. 開会

事務局の進行により開会。

## 2. 委嘱書の交付

市長の代理として平野市民部長から各委員に委嘱書を交付。

## 3. 挨拶

(市民部長)

成瀬センターもいよいよ本格的に建替に向けて動き出した。昨年度取りまとめた基本構想策定を受けて、委員も新たに町内会代表、運営委員会代表の方々、そして学識経験者として町田市建築審査会会長でもある前島氏にもご参加いただき、今年度中を目途として成瀬センター建替の基本計画策定に入りたいと思っている。また、検討委員会のほかに公募による市民と施設利用者の方にご参加いただき市民ワークショップを開いている。10月2日に第1回のワークショップを開き、個人としての要望を募っている。その要望を事務局で集約して検討委員会にフィードバックしていく。これらの結果を十分尊重して基本計画に活かしていきたい。なお検討委員会、ワークショップの両組織以外にも市役所内に連絡会を設け、各部署から意見を募り基本計画をまとめていく。本検討委員会は全4回を予定しているので是非ご協力をいただきたい。

(市民協働推進担当部長)

市民部市民協働推進課は、町内会自治会と行政との仲立ちを主な業務とすると共に各市民活動の支援を行っている。そのような市民活動をする上での地域の拠点整備が重要である。町田市には13ヶ所の地域センターがあり、その中で支所機能を持たないセンターの4ヶ所を市民協働推進課が担当している。成瀬センター、つくし野センター、三輪センター、木曾森野センターがそれである。成瀬センターは非常に多くの方に利用していただいております、年間7万人の利用がある。先日2日間にわたり成瀬センター祭りが行われ、参加者が4千人以上となった。まさしく地域の方の重要な拠点となっている。今回は建替という好機であり、さらに新しく使いやすいセンターに生まれ変わって欲しい。皆様の活発なご意見を頂戴できればと思う。

## 4. 委員紹介

事務局から町田市成瀬センター建替検討委員会設置要綱に基づく委員10名について氏名、所属を紹介し、市川委員が欠席の旨報告。その後、各委員、事務局職員、コンサルタントの順に自己紹介。

## 5. 委員長及び副委員長の選出

事務局から町田市成瀬センター建替検討委員会設置要綱第5により、委員長及び副委員長の選出を提起。委員長に前島正光氏を全委員一致で選出。続いて副委員長に中里孝夫氏を全委員一致で選出。

(委員長)

委員会は来年2月までに今日も含めて4回という限られた期間となるが、副委員長をはじめ委員の方のご協力をいただきながら円滑に会議を進めていきたいと思う。また、次年度以降へしっかりとバトンを渡していきたいので実のある議論をしたいと考えている。よろしくお願ひしたい。

(副委員長)

昨年の委員会にも参加させていただき、その他いろいろな委員会にも参加させていただいている。よろしくお願ひしたい。

## 6. 成瀬センター建替検討の背景と目的

事務局から【資料3】成瀬センターの建替検討の背景と目的について説明。

(委員)

あおぞら学童保育クラブはいつ頃移転予定か。

(事務局)

既に移転は完了して建物は市民部の管理となっている。

(委員)

あおぞら学童保育クラブの跡地は施設利用者用駐車場になるのか。

(事務局)

本検討委員会での検討課題となる。

(委員)

この地域に地区社協(地区社会福祉協議会)を設置して欲しいとの意見があり、いま各団体が取り組みを進めている。ただ地区社協の拠点となる場所が無いのが現状である。市主催の地域福祉のワークショップを行った際に成瀬センターが建替をする計画を伺い、拠点となるスペースを作るように働きかけたかどうかというアドバイスをもらった。実現するかどうかは別にして検討に値するのではないか。高ヶ坂は候補となる場所がない。成瀬地区には成瀬センターがあるので検討いただきたい。

(事務局)

地区社協用の建物がないことは承知している。しかし、どのような場所に設置するか市としての意思決定が必要となる。現段階では回答は難しい状態だが、ご要望としてお受けすることは可能である。

## 7. 成瀬センター建替検討の体制とスケジュール

事務局から【資料4】成瀬センター建替検討体制とスケジュールについて説明。

(委員長)

検討委員会の開催時間は夜か。

(事務局)

本日と同様に午後6時から午後8時を予定している。

(委員長)

資料にワークショップ通信やホームページ情報更新とあるが、どのようなものをお知らせするのか。

(事務局)

検討委員会については会議の議事録をホームページに掲載する予定である。別途進めているワークショップについては広報紙を発行してホームページ上にも掲載することを予定している。

(委員長)

議事録の作成形式にはいろいろあるが、一字一句記載されるような書式か、または要約のような書式か。

(事務局)

議事録要旨として掲載予定である。

(委員)

ワークショップの参加者は何名程度か。

(事務局)

現在26名となっている。

(委員)

男女比はどれくらいか。

(事務局)

女性が8割程度占めている。

(委員)

既にワークショップにおいて市民からの意見は集まっているか。

(事務局)

参加者にカードを用意し、そのカードに意見を記入していただき集約している。

(委員長)

当委員会は事務局が提案する資料に対し、意見を述べるということによろしいか。

(事務局)

意見を集約しながら少しずつ検討を進めるが、資料についてはある程度見てわかる形にして事前に準備する必要がある。市が図面等を提示してそれらに対して検討をしていただく予定です。

(委員)

この検討委員会における意見は尊重されとの認識でよろしいか。

(事務局)

当然、尊重したい。

(委員)

ワークショップや検討委員会において出された意見について、良い意見は吸い上げてもらえるのか。

(事務局)

ワークショップの意見は検討委員会にフィードバックする。ワークショップと検討委員会は並列であると考えている。検討委員会で出来上がったものを再度庁内で検討し直すことはない。検討委員会で出た意見を案として行政が受け止めて、最終的な計画を市として作成する。

(委員)

成瀬センターの利用者がワークショップに参加しているか。

(事務局)

ワークショップ参加者は公募により決定している。第1回ワークショップにおいては活発な意見交換が行われた。ただ公募市民による意見のため個人的な思いが強い。全ての意見を実現するのは難しいので、地域の代表である当委員会の検討を併せてより良い案を作成していきたい。

(委員)

成瀬センター運営委員の方も何名かワークショップに参加されているようだ。運営委員は13の自治会・町内会から推薦してもらうほか、153の利用者団体全てに参加希望を募っている。今回のワークショップでは10人前後の方が参加している。

(委員)

以前成瀬センターホール棟増築の際にも検討委員会があったと記憶している。その際に意見は多数出たが予算上の問題で実現できないことが多かった。今回の建替についてはどの程度まで実現できるのか決まっているか。

(事務局)

耐震性能や老朽化の問題から旧校舎棟は建替えることが決定している。また、ホール棟については2006年に庁内で実施した市有建築物マネジメント調査により、築年数や新耐震基準で設計されていることを考慮して改修が有利との結論が出ている。

(委員)

あおぞら学童保育クラブは基本的には更地にする予定か。

(事務局)

あおぞら学童保育クラブを含めた範囲が今回の検討対象となる。駐車場が不足しているとのこと意見も多数いただいているので、そのような用途も含め検討していく。

(委員長)

今回の建替において手を加えられる部分とそうでない部分を整理する必要があるのではないか。

(事務局)

まず旧校舎棟は建替となります。ホール棟については改修を行う。グラウンドは市としては手を加えず残したいと考えている。植栽部分、駐車場は手を加えたいと考えている。

(委員長)

グラウンドを残したいという理由について説明が必要である。

(事務局)

成瀬センターは防災計画上、避難場所に位置付けられている。応急給水槽が埋設されているなどグラウンドは残さなければならない。

(委員)

成瀬センターは明治6年にできた町田で一番古い学校の跡地である。文化的な観点からかつてここが学校であったという跡のようなものは残すべきである。

(事務局)

考慮していきたい。

(委員)

ホール棟の耐用年数は一般的にどの程度か。

(事務局)

一般的に鉄筋コンクリート造はおおよそ 50～70 年となっている。ただし、構造基準は大きい地震などにより指針が更新されることがある。昭和56年に大きな地震があり現在の新耐震基準に見直されている。ホール棟は昭和63年に造られているので耐震性は十分に確保されている。

(委員)

ホール部分は改修で旧校舎部分は建替となると、将来ホール棟を建替える際に“てれこ”になってしまう。本当にホール棟が改修だけでよいのかという疑問がある。

(事務局)

設備的な給水配管、電気配線、空調関係、音響設備は 20 数年経っているもので、耐用年数は考慮する必要があると考えている。構造的にはあと 30～40 年は問題がないと考えている。

(委員長)

個人的な意見として公共施設の耐用年数が 20～30 年では問題であり、しっかりとした物を作るべきである。ホール棟については新しい耐震基準で建てられているため構造上問題は無いが、建物は構造だけではなく設備や内装などのいろいろな要素があり、それぞれ寿命が違う。そのため改修が必要になってくると考えている。心配されている“てれこ”になるということは短いスパンでは発生しない。

(事務局)

校舎棟が現在築 40 年であり、市の本庁舎とおおよそ同じサイクルの建替となる。ホール棟については築 23 年であり構造的には若いと言える。ただ設備としてはだいぶ傷んでいるので大規模な改修になると思われる。

(委員)

2002 年 9 月に市議会において請願が採択されている。その内容は震災時に安全性が確保でき、かつバリアフリー化対応の施設にして欲しいとなっている。

(委員長)

この検討委員会でどうすべきかを検討していきたい。耐震のことは非常に重要な要素であるが、単に耐震の問題だけにとどまらず使いやすい施設にしていきたい。

(委員)

最終的には市長が言われているように町田に住んでいてよかった、成瀬センターができてよかったという評価を作っていきたい。2007年の成瀬センター祭りにおいて241人のアンケートを取った際に、ホールについては音響、照明、トイレ(ウォッシュレット)等についての意見が寄せられた。地震については茨城空港の屋根が先日の地震で落ちたとか、東京交響楽団が利用しているミュージア川崎も2年間使えないなどの例がある。どの程度揺れるとどうなるかなど予測が難しいと思うが、できるだけ地震に対して適切な設計をお願いしたい。

#### 8. 成瀬センター建替について

事務局から【資料5】現状の成瀬センター 【参考資料】第1回成瀬センターづくり会議で出た主な意見についてを説明。

(委員長)

資料の説明を受けて各委員から改めて成瀬センター建替に対する考えや思いをお話したい。本日の資料の内容でも普段感じていることでもどのような意見でも結構。

(委員)

子供たちの居場所に問題があるように感じている。何か悪いことを一度でもしてしまうと、それにより施設からはじきだされてしまう。昔は卓球をして、元気に遊んで、そして本を読むような場であった。しかし、卓球スペースがなくなり、子供たちの居場所がなくなった。そのため、かえで文庫に本に関すること以外のいろいろな子供が来るようになって遊び場所になっている。子供たちが安心して来られるセンターを作っていきたい。センターから出されてしまい建物外の階段付近に座り込んで遊んでいる今の状況は心配。しっかりと本がある部屋できちんと椅子に座れる環境を用意してあげたい。成瀬地域には図書館が無いのでかえで文庫を充実させていきたい。ふらっと入って本がある場所が必要であり、それには司書がいて図書館の管轄フロアがあるのが一番良いと考えている。そのようにするにはどうすれば良いかを考えている。市や図書館の方にご意見をいただき、できるだけよいフロアを作りたい。

(委員)

ワークショップの意見を拝見したが、みなさん大体同じ意見を持っているように見受けられる。高齢者と子供がうまくコミュニケーションがとれて一緒に過ごせる場所がお互いのために良い。子供たちにとって親が忙しくて不在の間に高齢者の方に躰も含めて見ていただける状況を作れると良いと考えている。また、防災にも力を入れていただければと考える。

(委員長)

今のご意見の一部は他の町内会の集会施設でも活用できる意見である。

(委員)

現在、フォークダンスでホール棟を利用している。建替えることでセンター祭の荷物搬入に使うエレベーターやバリアフリーが実現すると大変助かる。かえで文庫は子供たちやお母さん方の居場所にもなっているのです是非存続して欲しいと感じている。

(委員)

前年度の建替検討概要版を見せていただいた。前年度に検討された基本理念とワークショップで出された意見を拝見すると共通点があると感じる。

防災拠点としての位置づけは東日本大震災のこともあり、非常に重要と考えている。免震や耐震を考えなければならないが、想定外の事態にも備えた更なる強化をしていきたい。従来の防災拠点の考え方にとどまらず、今後何十年も使う施設であり、先を見据えた検討を行いたい。また見た目(デザイン)よりも機能を重視したい。できれば皆さんが使いやすく、多様な用途に適用できるものにしたい。必要な機能はいろいろあるが、限られたスペースや予算というものを考慮した上で、理想だけではなく何が本当に必要か具体的な検討を行いたい。子供から高齢者までが幅広く来る施設なので、日々集まることができるコミュニティーをつくるのが防災にも繋がると考えている。

(委員)

子供の居場所に関する意見がでたが、これについては子どもセンターが非常に参考になる。南地区には子どもセンター「ばあん」、鶴川地区には子どもセンター「つるっこ」、相原地区には「ばお」、また忠生地区にも設置することが決まっている。最後の一つを何処にするかが検討されているようである。ただ今日まで社会を担ってきた高齢者も考慮すべきである。子どもの居場所があり、音楽室もあり体育館もある。これは子どもセンターの役割であるが、子どもセンターと高齢者の憩いの場をミックスした場に成瀬センターをするのが良いのではないかと。

(委員)

地域防災のモデルになるような建物、また管理運営面でも無駄のない施設、さらに安全安心も考慮していきたい。悪い行動を起こさせないような配置設計をすべきである。またハードだけでなくソフトで対応していくことが大事ではないか。近隣では横浜市の奈良地区センターが良くできていると思う。使い方として学習、図書の間として広く開放するのはどうか。多目的室は無目的室にならないよう注意が必要である。また、駐車場も適度に確保していただきたい。

(副委員長)

南地区にはセンターが4つある。そのうち成瀬には2つある。考え方によっては恵まれているようにも見える。例えば忠生地区には1つとなっている。子供の居場所については、児童青少年課の会議で「まちとも」という小学校の校庭を開放する子供の居場所確保について話してきた。小学校が市内全部で42校、そのうち38校で実施している。この管理をシルバー人材センターに委託しているが、地域で対応したらどうかとの話もある。子どもセンターとしての活用について注意すべきは利用者が施設周辺の子供達だけになってしまうことである。子供の移動範囲では遠く離れた子どもセンターを利用することができない。利用できる範囲が限定されるため更に多くの施設が必要である。また地区社協の設置を高ヶ坂成瀬地区で考えたい。近日中に社会福祉協議会と調整する予定である。

(委員長)

確かに他の地域に比べて恵まれているように感じる。コミュニティー施設を考えると、この地域に集会所が13箇所ある。これらをトータルすると1,600㎡となる。使い方によってこれらと連携すると



いうのはいかがか。全てセンターだけで解決するのではなく広域で考えるべきである。また、今回建替える施設は80年とか100年間使われ続けて欲しいので先を見越した検討をしたい。そのためにはどのような施設にしたいのかということを明確にすることが重要である。それを考えると次回の会議が非常に重要である。子供、高齢者の両者に良い環境というのは両者が噛み合うことである。例えばある国では地区の中央にみんなが集う施設があり、その周辺に高齢者が住み、子どもが住み、幼稚園があるなど、施設がバラバラにあるのではなく互いに連携している。ホール棟についてはどのような使い方をするかによって音響設備が全く変わってくる。プロが利用するような音響設備が必要なのか、一般の方が楽しめれば良いのか。何をつくりたいかが重要である。この施設は親しめる施設であるべきだと思いますが、「また来たい」「親しみのある」というのは言葉で言うのは簡単だが、単に使い勝手を指すのではなく空間や色や広さなど考慮する項目が多く非常に難しい課題である。次回はワークショップで出た意見も踏まえながらもっと絞り込んだ検討を行いたい。手を加えられるスペースの中でどのような配置、動線にするのが望ましいのか。またみんなが入りやすい施設にするにはエントランスが重要となる。各自考え方を整理をしていただき次回検討を行いたい。

## 9. その他

(事務局)

次回の検討委員会は11月10日(木)午後6時開始となる。何か意見・要望があれば今週中に市民総務課まで連絡していただきたい。

## 10. 閉会

事務局の進行により閉会

以上